1.単元について

対象学年	高等学校 第 2 学年
学習指導要領	英文を読み、内容を理解し自分の言葉を用いてその概要や感想を他者に伝達 したりする。 (読むこと・話すこと)
単元名	Lesson 5 What Kids Want and Need to Know about AIDS by Kathy Wilmore **** READING COURSE *** 出版
単元目標	・AIDSについて書かれた説明文を読み、内容を把握し、英語で相互に感想を述べ、意欲的に自分の考えを伝えようとする姿勢が身に付いている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・AIDS感染を阻止するための方法について英語で伝えることができる。(表現の能力) ・文章の内容を読みとり、特にHIV感染者の思いを文章の中から理解している。(理解の能力) ・新出語句、構文の理解とともに、AIDSについての基本的知識を身に付け、人権尊重の重要性について十分理解している。(言語や文化についての知識・理解)
配慮事項	 ・新出語句や意味の分からない表現があっても最初から辞書に頼るのではなく、文脈の中で理解し、全体像を把握しようとする姿勢を身に付けさせる。 ・内容理解を英語による思考によって進めていくため、日本語を用いず、英語によるQ&Aにより授業を展開する。 ・テキストの英文を通してAIDSについての関心を高め、正しい知識を持つことによりAIDSの感染拡大をくいとめ、感染者への人権保護意識を高めていけるようにする。 ・AIDSについての知識を深めるため、教科書に述べられた項目以外についても英語による質問形式で導入していく。
準 備	・AIDS感染についての質問カード

2. 本単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意 欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
読むことの評価規準	言語活動に積極的、 意欲的に取り組んでいる。 まとまった内容のある英文を集中して読 みとろうとする意欲がある。		ある程度の内容のある英文を読みに表示を伝えるできることができる。 書かれた英語を場面でいた。 書かれたあることができる。 書かれたあることができる。 書かれたあることができる。	言語や言語の運用についての基本的な知識が身に付いている。 英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
話すことの評価規準	読み取った内容やその感想を意欲的にしている。 さまざまな工夫をすることをすることをもまることをもしていた。 さまさで、からとしていた。 たんけんしている。	題材から読みとった 内容を自分の言葉で 相手に分かりやすく 伝達することができ る。 作品を読んで得た感 想や意見を適切に発 表することができ る。		
単元における評価規準	・間違すでと 相し自るによりをえている 見、見て解して の間のど互とがでと 相し自るによりに は 乗間述欲深勢る ・ 乗間述欲深勢る ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ いっと いっと いっと さっに句え伝を いっと がまのいし 工 であで語りの いっと に張表す に張表す に張表す にままる にままる にままる にままる にままる にままる にままる にもたえし 自をこ かっこう にいる にんぎょう にり なて学やたえし 自をこ なて学やたえし 自をこ	・初期段階で辞書にで ででででででする。 ・著者の意図を理解 を理なる。 ・著の意図を理解 をできる。	・英文の中で使われている語句、構文を正確に理解することができる。・AIDSについての基礎的知識が身に付いている。

	ア コミュニケーショ	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化につい
	ンへの関心・意欲			ての知識・理解
	・態度			
	本文の内容や感想	新出表現とともに、	分からない語彙が	新出語句や構文な
学	を自分の言葉を用	これまでに既習の	あっても文脈から	どを正確に理解し
習	いて意欲的に相手	知識を積極的に活	類推し、概要を把	ている。
活	に伝えようとして	用し、英文の概要	握することができ	* When it comes to
動	いる。	を自分の言葉で表	る。	*動詞 + 不定詞、動
に		現することができ		詞 + 動名詞での意
お	話し手の意見を集	る。	英文からAIDS	味の異なる表現
け	中して聞き、理解		に関する客観的情	
る	しようとしている。	英文についての感	報を正確に読み取	AIDSについて
具		想や意見を自分の	ることができる。	の基礎的な知識を
体		言葉で適切に相手		持ち、登場人物(感
の		に伝えることがで	他の生徒の感想や	染者)の気持ちや
評		きる。	意見を正確に聞き	その背景を理解し
価			取ることができる。	ている。
規				
準				

3.指導と評価の計画(全7時間)

時	学習目標	学 習 活 動		規造	_	評価方法	指 導・援 助 配 慮 事 項
1	本文を理解す るため背景と なる知識を学 び、全体の概 要をとらえる。	・本文の内容についての 紹介を聞き、その内容 についての質問に英語 で答える。				活動の観察	・生徒の理解を確認しながら相互のコミュニケーション活動として行う。
	(導入)	・P.57のポスターの内容 を理解しそれに関する 質問に答える。				活動の観察	・1対1のQ&A に留めず、生徒 からの返答によ り更に発展させ
		・P.51,P.52,P.53に提示された質問に対して考え、各自が予想する答を発表する。				活動の観察	た質問へと進め より深い理解に 導くよう配慮する。
2	本文の内容を 把握し、自分 の言葉で要約 することがで きる。 (P.51,52,53)	・前時の復習 確認プリントに記入する。音読、(Q&A)・本文の英文を聞く。				活動の観察 授業後プリントを 回収し点検	・前時の学習事項 定着を図る。
	(展開)	・内容について英語の質 問に答える。(内容理 解)				活動の観察	・日本語を介容を理
		・本文中での語句・構文 確認を行う。 ・音読を行い英文の内容 を定着させる。					・新出単語について文脈の中で意味の確認を行い定着させる。
		・教科書を見ずモデルの 音声英語のみに従って リピート練習を行う。					・音声としての英 語を聞き取って リピートする調 により、意識的 に英文を暗唱で きるよう配慮す る。
		・本文の内容を自分の言 葉で再現し生徒間で確 認し合う。 ペア・ワーク 全体活動				活動の観察	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

4	杰斉の内容を	・前時の復習 確認プリントに記入す	江手の知家	・前時の学習事項 定着を図る。
5	本把のすきる。 (展開P.54,55)	る。 音読、(Q&A)	活動の観察 授業後プリントを 回収し点検	正有を凶る。
	(展開P.54,55)	・本文の英文を聞く。 ・内容について英語の質 問に答える。(内容理 解)	活動の観察 プリント確認	・ ・
		・本文中での語句・構文確認。		い、定看させる。 ・新出単語につい て文脈の中で意味を確認を行い。
		・音読を行い英文の内容 を定着させる。		い、た省ことも。
		・教科書を見ず、モデル の音声英語のみに従っ てリピート練習を行 う。		・ 音語リに英る。 声をピよ文よ しきト意暗配 のっる的です です を見いをうる。
		・本文の内容を自分の英語で再現する。 ペア活動 全体活動	活動の観察	用る習実にを共用の再にの場で付益できりと頭の応にの場で付益できりとできるででいる。分でと項の応にの場で付益をせ既や軟力とのの時にの場で付益をがあるがある。
		・Paulaの気持ちの変化 をたどりながらAIDS 感染者を受けるではでいるででである。 でであるでである。 ででは、ファイン 全体活動	活動の観察	在 J Pau I a 化 らま で
6	練習問題を通 じて本文の内 容を復習する。	・[Q] ごとに英文を聞き、概要を発表する。	活動の確認	・ 復の英約教題解事る復備であるの時間では、習得文を トーマー・ と略をせ書よ確の プレンを明るのり認定 リレを解をせ書よ確の プロンを トーマー・ と略をせき は できる いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ
	文法・構文に ついて整理し、 定着させる。	・Comprehension(P.58) の質問に答える。		が対している。 ・教科書の練習問 ・類により内容理
	定着させる。	・Exercises(P.60)の問 題を行う。		解の確認と文法事項の定着を図
		・プリントにより文法・ 構文の整理と演習を行	活動の観察 プリント確認	・復習プリント準 備。
		・A [°] I D S についての資料を用いてペアにより課題発表(第7時限)の準備を行う。		・発表内容をまと めていくを準 備。
7	資自聞るる。 (本表表) (本表表) (本表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	・まという。 ・まという。 ・まないか。 ・ではから。 ・ではから。 ・ではから。 ・ではから。 ・ででが、 ・でが、 ・	活動の観察	・「「はない」、「はないでは、場合では、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

4.単位時間の授業展開例(第3時間目)

- (1)本時のねらい
- · How can you tell if a person has AIDS?
 - · Does a person with AIDS die right away?
 - Is there a cure for AIDS?

本文中に提示されている3つの質問(上記))に対する答を的確に読みとり、教科書を見なくても自分の英語で概略を述べることができる。

- (2)本時の位置
- 3 / 7 時
- (3)展開案

過 程	学 習 活 動	評価についての詳細・留意点 (内容と方法)	指導・援助
前時の復習	前時の復習として確認プリントに記入させる。 前時の本文(P.51 ~ P.52 l.10)について 音読させ内容を確認させる。	工 - 授業後プリントを提出させ評価に加える。	・語彙、文法の理解確認を行い評価する。 ・モデルを与えリピート練習させる。
	* What does AIDS stand for? * What is HIV? 教科書を見ることなく、以上の二つの質問に対して自分の言葉で答えさせる。		・主題となる質問項目について答えさせることにより前時の概要を自分の言葉で述べさせる。
導入	オーラルイントロダクション * Do you think you can tell if a person has AIDS from his or her appearance? * How long do you think a person with AIDS can live? * Is there a cure for AIDS?		・テーマとなる質問に対して 既習事項を活用して自分の 考えを正確に伝達すること ができるか確認し、内容に ついて助言を与える。
展開	本文の英語を聞かせる。 英文の内容についてQ&Aを行い理解を確認していく。 本文中での語句、構文を確認する。	<u>ウ・</u> 活動の観察 英文の概要を正確に把握し、 Q&Aに正しく答えていくこ とができるか評価する。	 CD をもちいたリスニング 指導。 3つの Question ごとに区 切り、より細部に言及するQ & A によって内容の理解を深 めていく。
	リピート練習により英文になじませる。 教科書を見ず、モデルの音声英語のみに 従ってリピート練習を行い英文の定着を 図る。 教科書を見ることなく、主題となる質問 に対して本文の内容に従ってできるだけ	₫ - 本時の重点評価項目	・英文の定着を図る。 ・英文を暗唱させる。 主題の質問に対する答えに ついて内容を理解し、かつ その表現方法の定着を図 る。
	詳しく自分の言葉で表現させる。 ペア・ワーク 一方が質問を投げかけ、もう一方の生徒 が自分の言葉でその質問に答える。 全体発表	テキストの内容を的確にまと め自分の言葉で表現すること ができるかを評価する。	・ペア・ワークで慣れさせ、 その後全体の前で数ペアが 発表を行う。
整理	チェックプリントにより、空欄補充、新 出語句の定着を促進させる。		・本時の学習事項の確認として行う。

5.評価の実際と個に応じた指導事例

本時において重点的に取り上げた評価規準

場面: 3時間目(全7時間中)

イ - 新出表現とともに、これまでに既習の知識を積極的に活用し、英文の概要を 自分の言葉で表現することができる。

*活動内容

「AIDSについての質問」 「答え」という形式で展開されている英文について教科書を見ないで自分の言葉でストーリーの内容をできるだけ詳しく相手に伝える。ペアでの活動から始め、クラス全体の前での発表へと進める。

評価の方法

活動の観察

テキストの内容を自分の言葉で的確にまとめ、表現する事ができているかをペア・ワーク及び全体発表の内容から評価していく。毎時間数名ずつ評価対象とし、誰がその時間の評価対象となっているかについては通知しない。

評価の決定

A,B,Cの3段階で評価を行う。

- ・提示された「AIDSについての質問」に対して相手に内容が十分適切に伝わっている場合「A」と判定する。
- ・教科書を見ることなく自分の言葉で表現する努力がなされており、おおむねその内容が理解され得る場合は「B]と判定する。
- ・教科書を見たり、他者からの援助がなくては進めることのできない場合は「C」と判 定する。

個に応じた指導の実際

個の学習状況に応じた手だて

- < 「 A I D S についての質問」に対して途中で適切な言葉が出ない生徒に対して > (その段階により)
 - ・生徒相互間で表現できない部分の英単語等についてヒントを出し合い、発表を継続 させた。
 - ・生徒間での援助のみでは困難な場合 授業者の側からキーとなる英単語、語句等を提示し発表の継続へと結びつけた。 テキストを開き内容を再確認させ、再度閉じて発表を継続させた。

それぞれのペアの発表を観察・評価するにあたり良い面を積極的に見つけだし認めながら進めていった。教科書の暗記ではなく、内容を相手に的確に伝えるためのコミュニケーションとして活動を展開した。

以上のいずれの場合においても生徒間でヒントを出しながら自立して発表を継続 していくことを目標としているため、授業者からの援助は最小限に留めた。

こうした自分の言葉による再現について生徒は回数と共にしだいに慣れ、しだいにスムーズにリプロダクションが可能となっていった。教科書で使われている表現を自分の言葉となるように親しませ活用できる表現方法を増やすとともに、既習表現を活用する事により知識の強化を行い、表現範囲を拡大して定着させていくための演習活動でもある。

単元を通した継続的な手立て

・自分が相手に伝えていきたいことを表現していくために必要な英文を教科書、及びこれまでの既習内容から積極的に活用していく習慣を身に付けていかせるために教科書を閉じて自分の言葉で表現していく活動を積極的に取り入れていった。普段においても教科書の活字を見ないで音声を聞いて英文をリピートするといった内容を取り入れ、単に機械的に英文をリピートするのではなく意識的に記憶させていけるような訓練を仕組んでいけるよう配慮した。

6.評価から評定への総括

(1) 評価

「リーディング」の評価においては「読むこと」が主となるが、読み取った内容を元に自分の言葉で要約したり感想を相手に伝えたりするための「話すこと」、「書くこと」にも重点を置いた評価を行い、そこから評定を決定していくように評価計画を立てウエイトバランスを設定する。

(2) 評価方法

一斉 定期考査 年4回

授業時 活動の観察

小テスト レポート

授業プリントの確認

(3) ウエイトバランス

以下の評価項目のウエイトに基づいて評定を決定する。

N I W II III W J Z I			
評価の観点	評価方法	配分	
コミュニケーションへの	授業による評価(活動の観察)	1 0 %	1 3 %
関心・意欲・態度	授業プリントの確認	3 %	
表現の能力	授業による評価(活動の観察)	1 0 %	2 7 %
	定期考査	1 0 %	
	レポート	5 %	
	授業プリントの確認	2 %	
理解の能力	授業による評価(活動の観察)	1 5 %	3 0 %
	定期考査	1 0 %	
	小テスト	5 %	
言語や文化について	授業による評価(活動の観察)	1 0 %	3 0 %
の知識・理解	定期考査	1 5 %	
	小テスト	5 %	

(4) 評価方法について

・授業による評価(活動の観察)(45%)

「授業における活動の観察」に高いウエイトをかけることにより、「リーディング」を従来の「読み」といった受け身的なものではなく、他の3技能とリンクし、積極的に活動を通して自己表現していくものとして位置付けたい。そのために「理解」と同等のウエイトを「表現」に置いたウエイトバランスとする。

·定期考查(35%)

デキストの内容理解とともに、教科書の内容を用いた表現活動が反映される問題とする内容の理解度を判定するものとして、授業で行っている英文のリプロダクションのウエイトを高く設定し、「学習内容の活用」の意識付けを行う。

・授業プリントの確認(5%)

授業の導入と理解を助けるためのものであるが、授業への取組の度合いや演習活動を常時 評価する尺度としても重要な意味を持つと考える。

・レポート(5%)

教科書
の英文
に関連した内容で主に感想などを作文としてまとめるものである。「リーディング」を4技能の「書く力」とリンクさせ、総合的な能力の育成を目指す。

・小テスト(10%)

授業における教科書を使った英単語や暗唱テストを示す。普段の学習活動をより細やかに 評価する。学習の意識付けとしても大切である。